



Unofficial Translation (非  
公定訳)

**Research Institute of Economy, Trade and Industry (RIETI)**

**25 July 2008**

**Tokyo, Japan**

**国際投資協定における  
最近の趨勢と重要な諸問題**

**Recent trends and key issues in  
international investment agreements**

**Anna Joubin-Bret  
Senior Legal Advisor  
UNCTAD**

# 国際投資協定(IIAs)の 世界的趨勢

**Global trends in International  
Investment Agreements**

# IIAsの役割

- 国際投資のための、安定的で、予測可能性が高く、透明性の高い規律枠組の確立に資すること。
- 自由化・投資保護・投資促進について国際的に合意された権利義務を通じて、投資関係（外国投資家，受入国，投資家本国，受入国の投資家および開発関係者間の関係）の調整を促すこと。

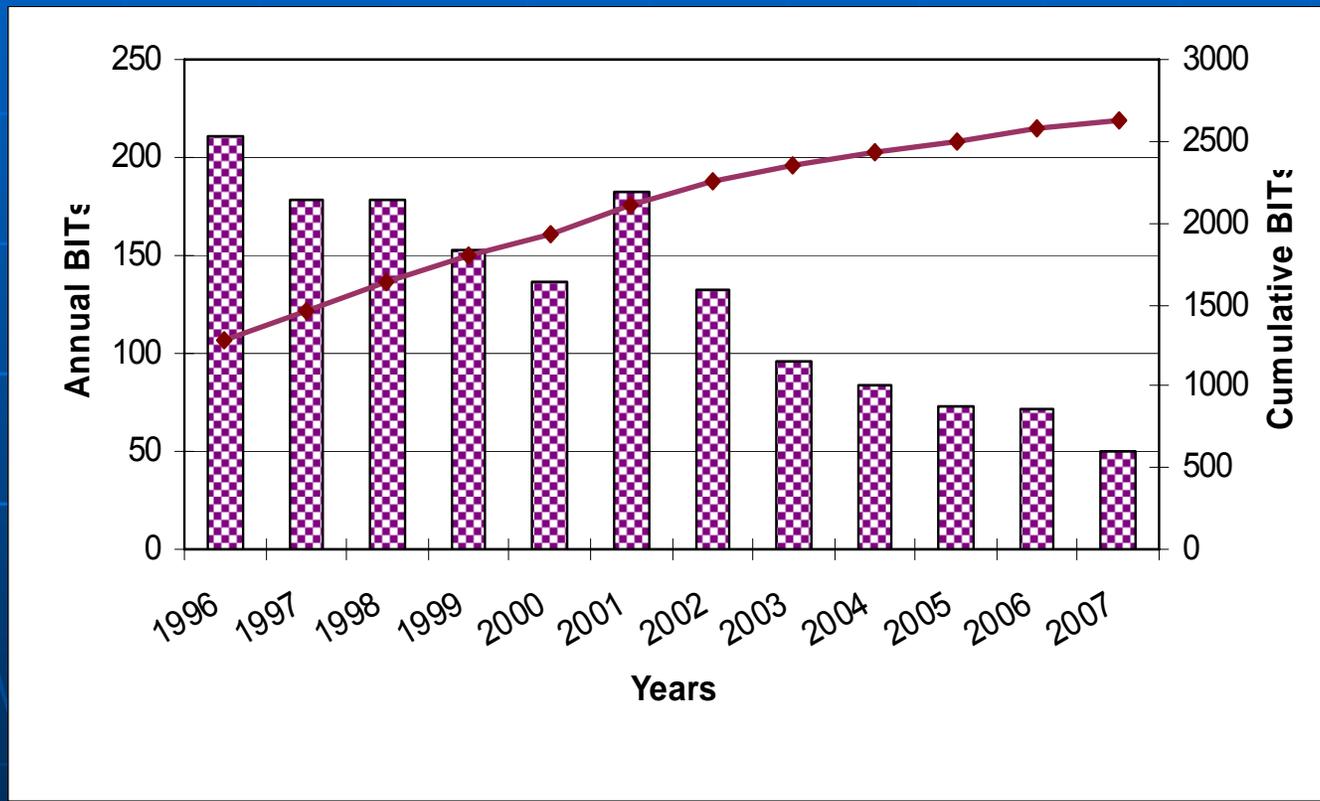
# 国際投資協定 (IIAs) のネットワーク

- 二国間投資協定 (BITs)
- 自由貿易協定／経済連携協定 (投資規定を含む) (FTAs/EPAs)
- 地域統合協定 (EU, EFTA, CARICOM, MERCOSUR, ASEAN)
- 投資に関する多数国間協定 (GATS, TRIMs, TRIPs, MIGA)

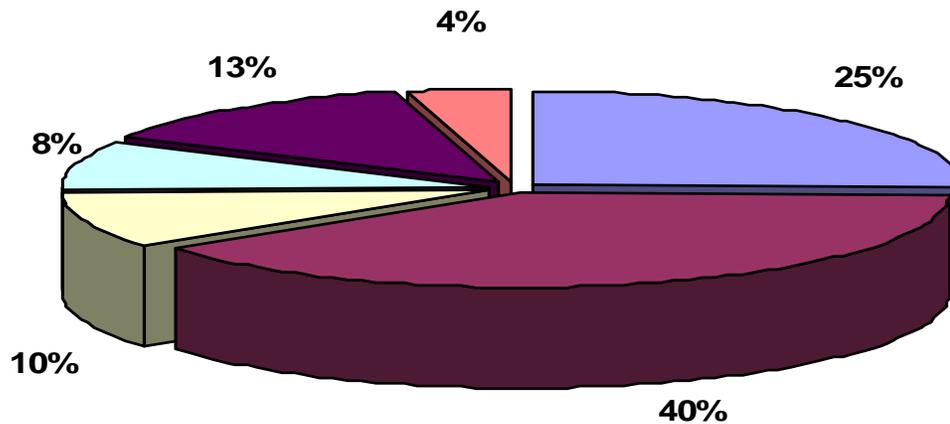
# **A. 二国間投資協定**

**Bilateral Investment Treaties**

# 急速に成長するBITSネットワーク 現在2500超に至るBITS

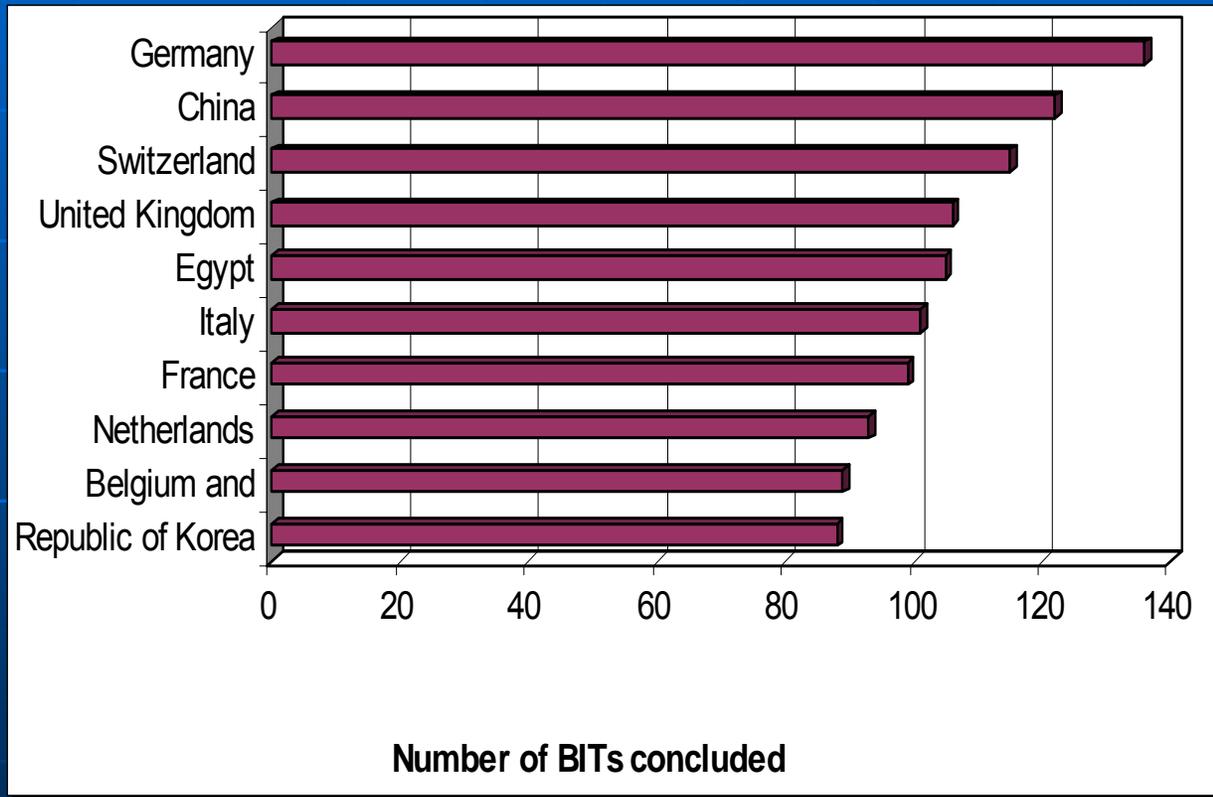


# BITsの締約国の組合せ別の割合 (2007年末現在)

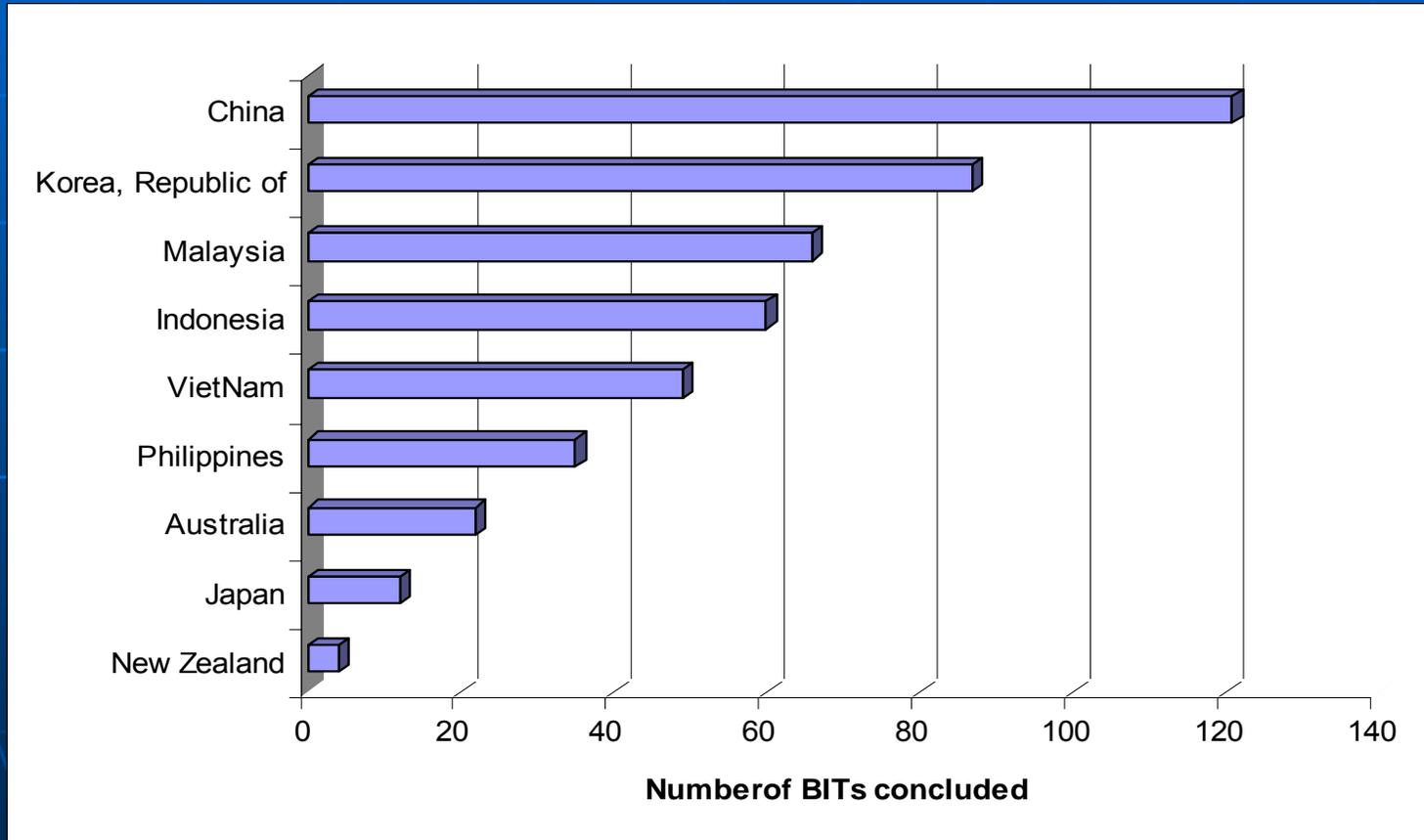


- Between developing countries
- Between developed and developing countries
- Between developing countries and countries of SEE&CIS
- Between developed countries
- Between developed and countries of SEE&CIS
- Between countries of SEE&CIS

# BITs署名数トップ10 (2007年末現在)



# アジア・オセアニアにおけるBITsの署名数 (2007年末)



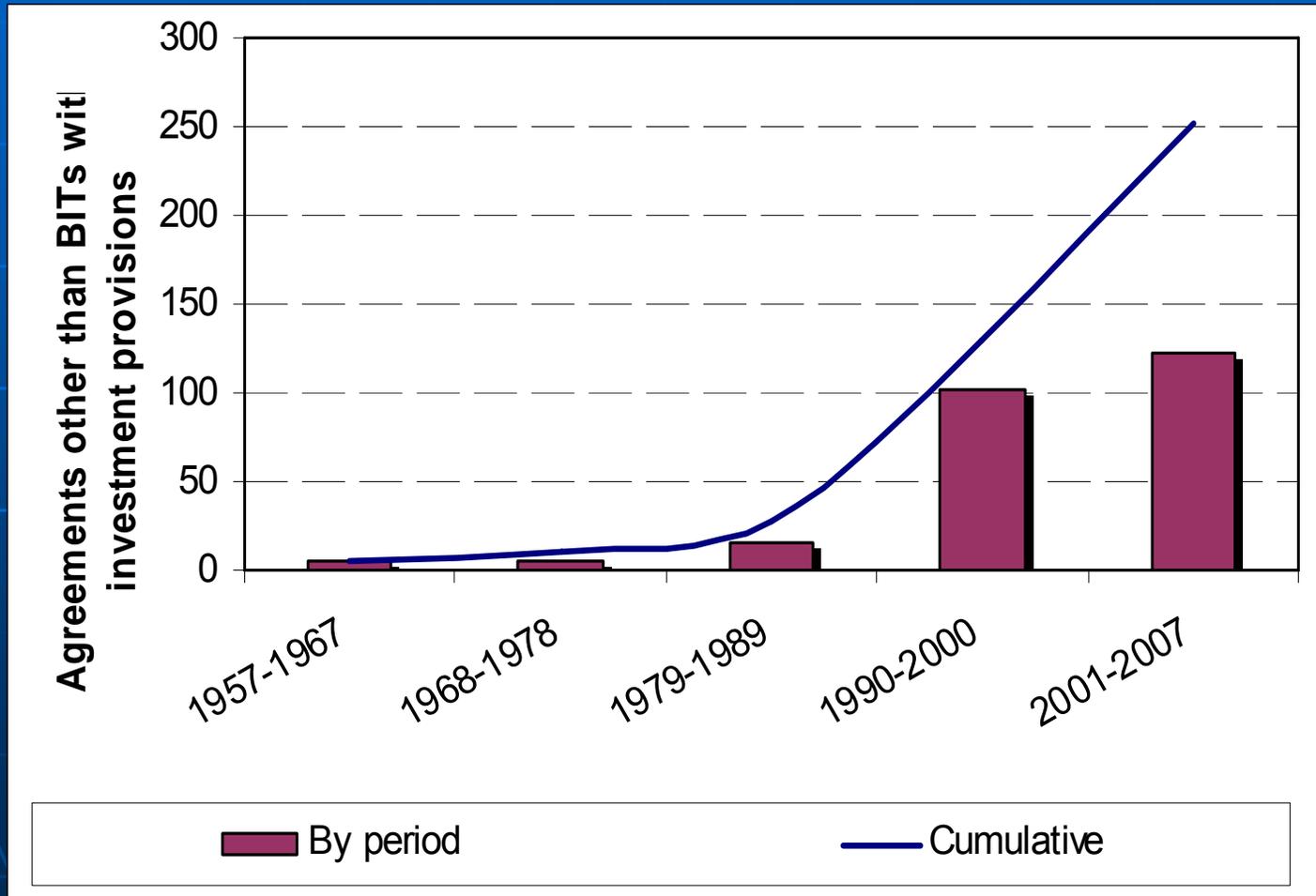
## **B. 自由貿易協定**

# **Free Trade Agreements**

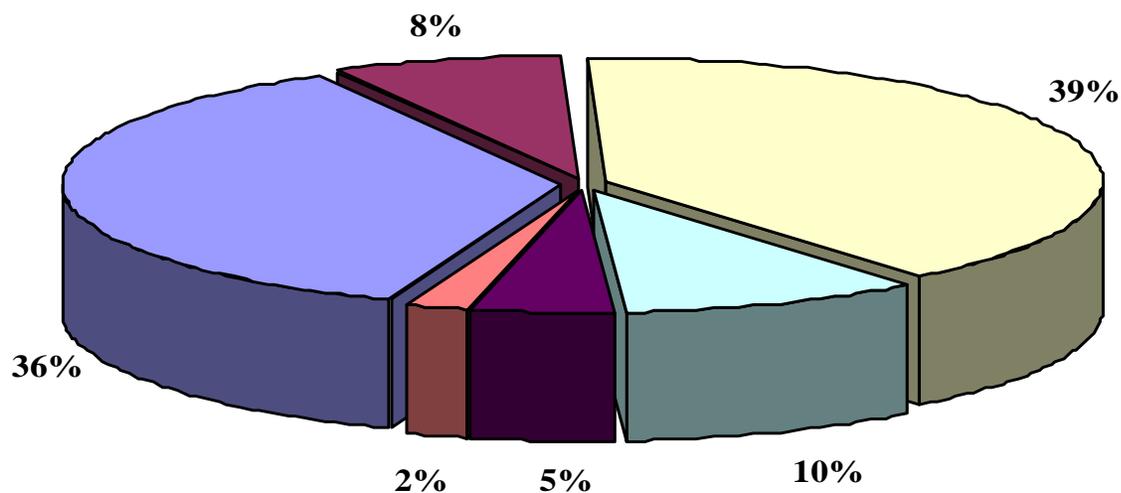
## B. 投資章を含む自由貿易協定

- 国際投資に関する規則は、次第に、貿易・サービス・競争・知的財産といった、より幅広い問題を含む協定の一部を構成するようになりつつある。
- 2つの主たる形式:
  - 投資自由化のみ (EU EPAs)
  - 投資自由化および投資保護 (US, Can, Japan FTAs)
- 投資に関する規律を含む地域統合: ASEANにおける投資自由化および投資保護
- このような投資に関する規定を含む経済協定の総数は、2007年末に250を超えた。

# 2007年末現在、投資規定を含む経済協定は250を超える



# 投資規定を含む貿易協定の 締約国の組合せ別の割合 (2007年末現在)

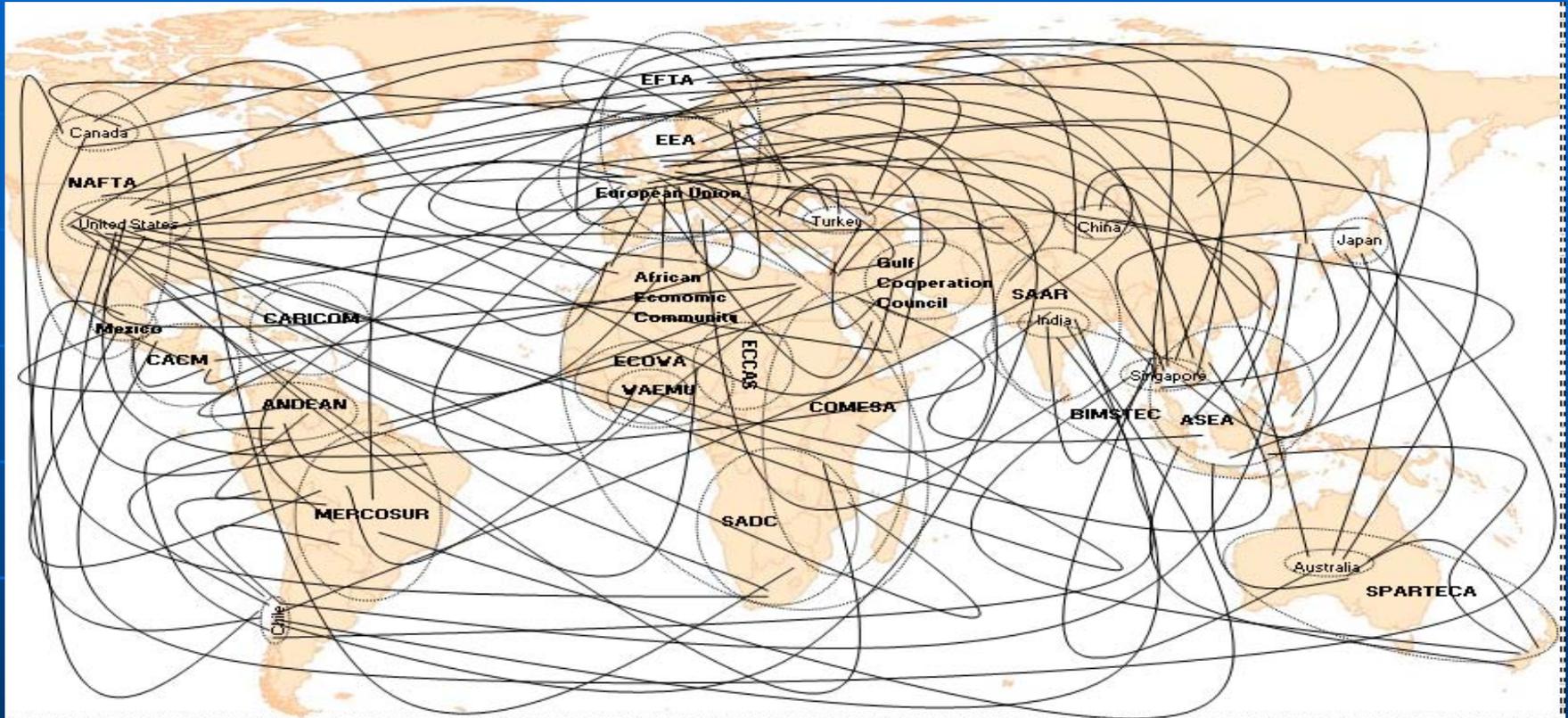


- South-South
- North-North
- North-South
- North-transition economies
- Transition economies-transition economies
- South-transition economies

# 投資章を含む最近の FTAs

- アメリカ合衆国・ペルー自由貿易協定
- アメリカ合衆国・コロンビア自由貿易協定(未批准)
- シンガポール・パナマ自由貿易協定
- EC・アルバニア連携協定
- 日本・フィリピン経済連携協定
- 日本・チリ経済連携協定
- 日本・タイ経済連携協定
- アメリカ合衆国・韓国自由貿易協定

# FTAsと投資規定との重畳



- IIAs はすべてのレベルで激増
- 重層的かつ多面的な投資規則からなる複雑なシステムが構築されている

# 投資家対国家の紛争処理の発展

## Recent developments in investor-State dispute settlement

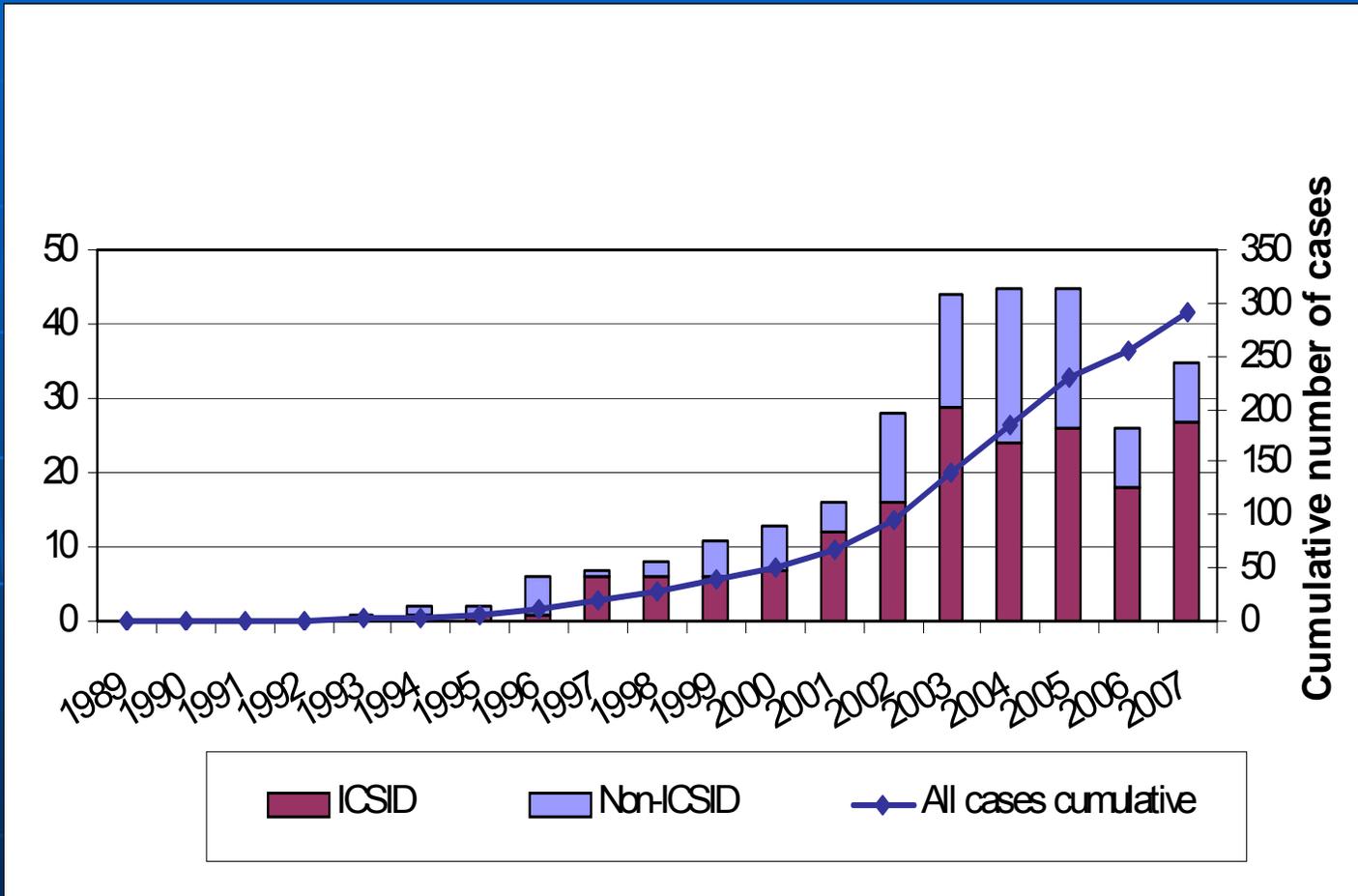
## IIAsの増加とともに増加した 投資家対国家の紛争

→ 2007年末までに、協定にもとづく事件の累積数は、明らかにになったものだけで290を超える。

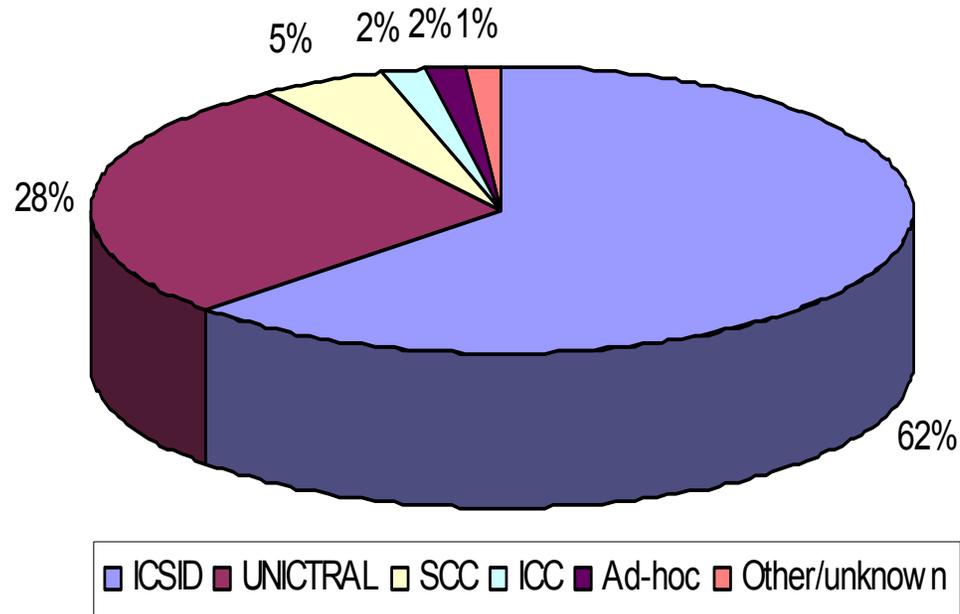
→ これらの手続で出された判断は、投資協定の規定の意味および内容を明確化した。一方で、いくつかの矛盾する判断が不確実性をもたらした。

# 投資協定仲裁の事件数

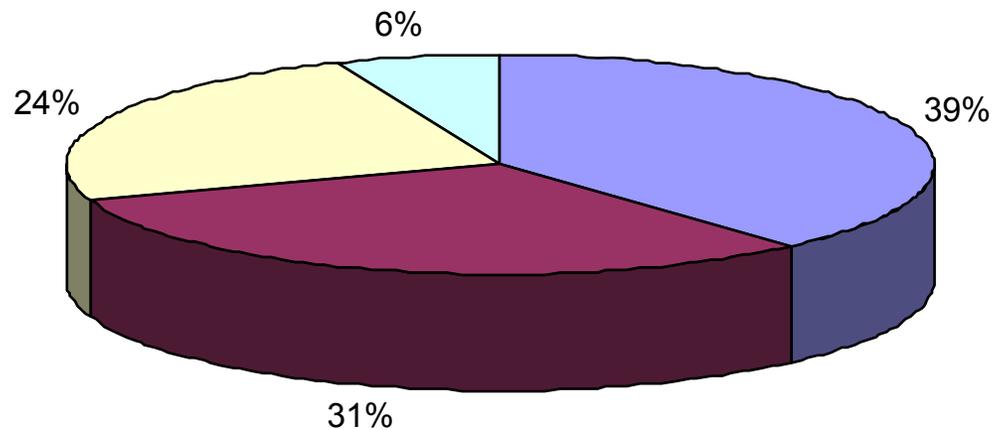
(公表された事件の累積事件数および新規事件数, 1987-2007)



# 主要仲裁廷への付託案件の割合

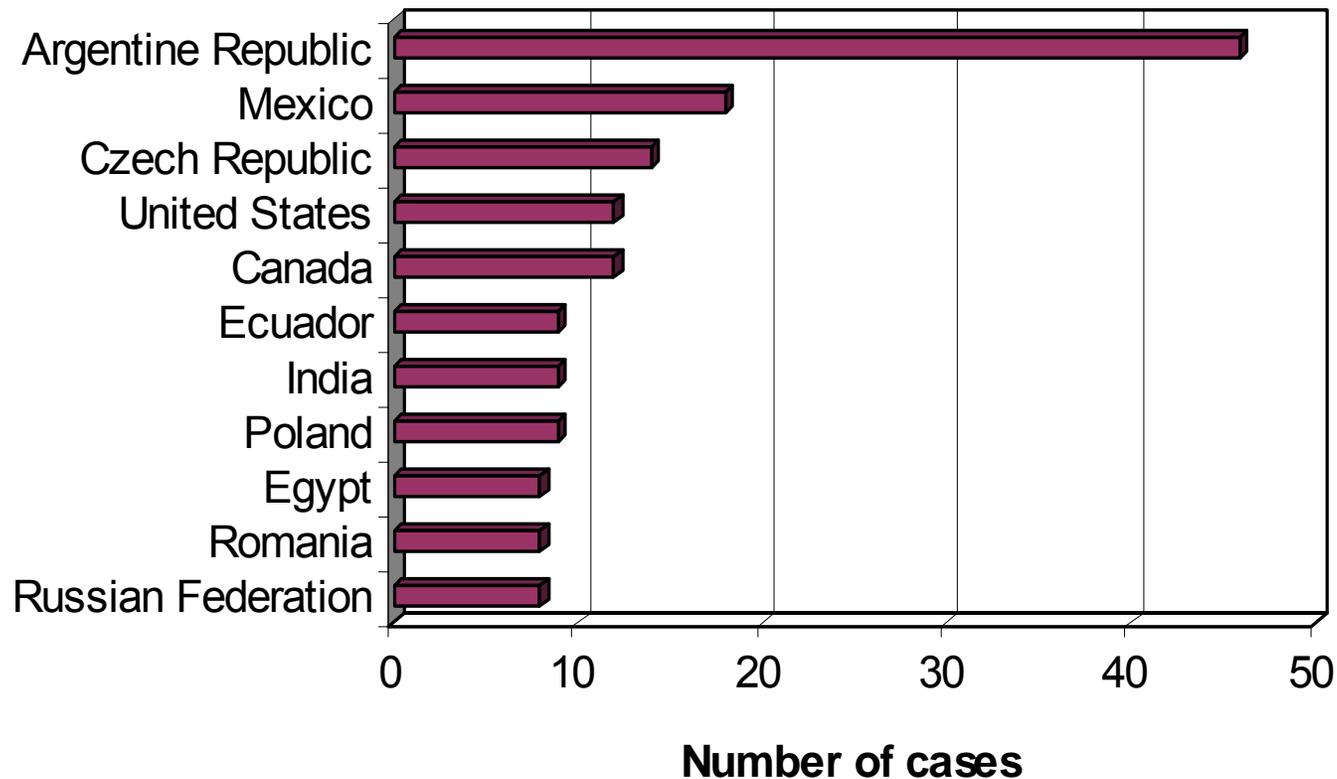


# 投資協定仲裁に付託される案件の 産業セクター毎の割合



■ Tertiary sector ■ Secondary sector ■ Primary sector ■ Unknown

# 投資協定仲裁一被申立国ベース (公表された事件のみ. 2007年12月現在)



# 投資家対国家の紛争処理手続 (ISDS) メカニズム: 懸念

- ISDS メカニズムの利用が増加している
- 手続にかかるコストが高い
- 仲裁判断は膨大な額となりうる
- 投資先としての国家の評判に潜在的な影響力をもつ
- 国家の規制権限に影響する
- 将来の投資協定で対処することは可能であるが、では現行のネットワークにおいてはどうか？ MFN規定については？

# 国際投資協定に関する重要な問題と構造的示唆

**Key issues and systemic implications in international investment agreements**

# 政策の一貫性

- IIAsネットワークのさらなる複雑化
- 国内レベル(国家契約・調達), 二国間レベル, 地域レベルでの, 投資保護および自由化に関する義務の重複
- 南-南協力: 資本輸入国が資本輸出国に
- 仲裁廷による協定の規定の解釈の相違
- 国際投資法の発展

以上の理由から,

政策の一貫性を維持することが, 発展途上国であるか先進国であるかを問わず, 国家にとって大きな課題となる.

# 政策の一貫性－2つの局面

- 第1に, 受入国が当事国である国家契約を含む, 様々なIIAs間の一貫性を確保する必要がある。同じIIA内の規定の間でさえ一貫性を確保する必要がある。
- 第2に, IIAsと投資契約とから生じる義務と, 受入国の発展に関する政策との間で, 一貫性を確保しなければならない。政策の余地と政策の柔軟性の問題。

# Pro-active vs. Sit-back-and-waitアプローチ

- Pro-active: コミットメントの確認, IIAネットワークの積極的なモニタリング, モデル投資協定を適応させる, 国家によるISDSの積極的コントロール, 調整, 既存の協定の再交渉
- Wait and see: 大多数の国家が採用. EU諸国: Admission モデルは維持されるのか? 費用と利益とのバランス (メキシコのアプローチ). 中国のアプローチ.

# Pro-activeアプローチ vs. sit-back-and-wait

- 投資家対国家の紛争処理手続 (ISDS) において:
- ラテン・アメリカ諸国はICSIDから脱退. アプローチは一貫せず: ICSIDから脱退するも BITsは維持 (ボリビア/エクアドル)
- 圧力を受けている国: 南アフリカ
- ISDSへのアクセスを制限している国: アメリカ合衆国/カナダ

# 投資関係再考

- 古くからあるBITs は、現在においても投資関係の現状を反映しているか？
- 肯定: 収用は依然として問題. 公正衡平待遇義務 (FET) もますます問題となっている. 新規参入者も保護を必要とする. 新しい保護主義.
- 否定: 外国投資の規制と保護との間の緊張関係. 法の支配の強化. 新規参入者はさらに緊張を感じている.
- 発展途上国と先進国との運命共同体化が進む.

# IIAs – 発展のための道具？

権利・義務の射程および内容が不確定であり、かつ、望まない効果を持ちうるものが、受入国の発展に関する政策の一貫性を危うくする可能性がある。

→ IIAsの多数の仕掛けが様々な効果を持ちうるとすると、発展の目標を達成するための道具としてIIAsを利用することは困難となる。

→ たとえば、個別のIIAsにおける、投資許可段階における権利の付与と、最恵国待遇(MFN)条項の適用との複合効果によって、外国投資家に対する選択的介入政策が制限される可能性がある。それは、あらゆる外国投資家に対し、関連するセクターを開放する効果を持ちうる。

# 要旨

おとぎ話の結論: 眠り姫はキスを受けて、醜いヒキガエルになったのか、それとも、我々は皆、魔法使いの弟子の役を演じているのか？

いずれにせよ:

「正しい」IIAsを交渉し、締結しかつ履行し、そして、次第に複雑化する協定に対処することが、すべての国家、とりわけ発展途上国の重要な課題である。

つまり、キャパシティ・ビルディングと技術協力が重要なのである。

**UNCTAD はそれを支援することができる。**

**Thank you**